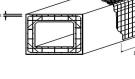
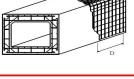
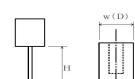
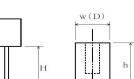
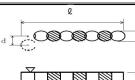
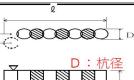


令和6年版												令和7年版												改定理由	
測定箇所												測定箇所													改定理由
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	測定箇所	摘要	改定理由	
1 共通編	3 無筋 ・ 筋 コ ン クリ ート	7 筋 工	4		組立て	平均間隔d	±φ	$d = \frac{D}{n-1}$		1-3-7-4	1 共通編	3 無筋 ・ 筋 工	7 筋 工	4		組立て	平均間隔d	±φ	$d = \frac{D}{n-1}$		1-3-7-4	測定箇所追加	測定箇所追加		
						かぶりt	±φかつ 最小かぶり以上	D: n本間の延長 n: 10本段度とする φ: 筋筋径									設計かぶり ±φかつ 最小かぶり以上	D: n本間の延長 n: 10本段度とする φ: 筋筋径							
3 土木工事 共通編	2 一般施工	3 共通的 工種	6		小型標識工	設置高さH	設計値以上	1ヶ所/1基		3-2-3-6	3 土木工事 共通編	2 一般施工	3 共通的 工種	6		小型標識工	設置高さH	設計値以上	1ヶ所/1基		3-2-3-6	誤字	誤字		
						幅w (D)	-30	基礎1基每									幅w (D)	-30	基礎1基每						
						高さ h	-30										高さ h	-30						誤字	
						根入れ長	設計値以上										根入れ長	設計値以上							
3 土木工事 共通編	2 一般施工	3 共通的 工種	24	2	伸縮装置工 (鋼製フィンガージョ インド)	振付け高さ	±3	高さについては車道端部、中央部において橋軸方向に各3点計9点	 表面の凹凸: 表面の凹凸は長手方向(橋軸直角方向)に3mの直線規定で測って凹凸が3mm以下	3-2-3-24	3 土木工事 共通編	2 一般施工	3 共通的 工種	24	2	伸縮装置工 (鋼製フィンガージョ インド)	振付け高さ	±3	高さについては車道端部、中央部において橋軸方向に各3点計9点	 表面の凹凸: 表面の凹凸は長手方向(橋軸直角方向)に3mの直線規定で測って凹凸が3mm以下	3-2-3-24	測定箇所の丈	測定箇所の丈		
						橋軸方向各点 誤差の相対差	3									橋軸方向各点 誤差の相対差	3								
						表面の凹凸	3									表面の凹凸	3						測定箇所の丈		
						歯型板面の歯み合いで ある高低差	2									歯型板面の歯み合いで ある高低差	2								
						歯み合いで部の縦方向 間隔W ₁	±2									歯み合いで部の縦方向 間隔W ₁	±2						測定箇所の丈		
						歯み合いで部の横方向 間隔W ₂	±3									歯み合いで部の横方向 間隔W ₂	±3								
						仕上げ高さ	0~+2									仕上げ高さ	0~+2						測定箇所の丈		
3 土木工事 共通編	2 一般施工	10 板 設 工	10		地中連続壁工 (柱列式)	基準高▽	±50	基準高は施工延長40mにつき1ヶ所。延長40m以下のものについては1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-10-9 D: 桁径	3 土木工事 共通編	2 一般施工	10 板 設 工	10		地中連続壁工 (柱列式)	基準高▽	±50	基準高は施工延長40mにつき1ヶ所。延長40m以下のものについては1施工箇所につき2ヶ所。		3-2-10-9 D: 桁径	文字の場所	文字の場所		
						連壁の長さℓ	-50									連壁の長さℓ	-50								
						変位 d	D/4以内									変位 d	D/4以内						文字の場所		
						壁体長L	-200									壁体長L	-200								